

令和4年度 第3回学校関係者評価委員会
兼 信頼される学校づくりのための委員会

- ◎日 時 令和5年2月9日(木) 15:30~16:20
- ◎会 場 総合学館 C2 4 教室
- ◎参加者 評価委員・校長・教頭・事務長・4部主任・学年主任・学校評価係
- ◎会 順 15:30~開会のことば・校長より
15:35~資料説明
16:00~意見交換
16:20~閉会のことば

◎委員からの感想等(まとめ)

- 1 生徒指導部の活動について
 - ・(質問) ボランティア活動は具体的には何をしたのか。
(回答) 枕崎市主催のもの、枕崎市図書館の手伝い、保育園での読み聞かせ等を行った。
 - ・(質問) 特別支援学校の巡回相談は毎学期利用しているのか。
(回答) 高校の巡回指導は、その都度依頼し、来てもらうことになっている。今年度は職員の意見を聞き、該当者がいたので、2学期に1度来ていただいた。
 - ・(質問・意見) 校則の見直しはしているか。中学校では靴下の色も白のみにしている。中学生は高校生の姿を見ているので、人権に配慮しながら、服装の乱れについては厳しくすべきである。また中高連携をとり、服装の乱れの改善ができればと思う。
(回答) 靴下の色を、白だけではなく黒も認めることにした。また、更衣の移行期間を緩め、ある程度生徒が選べるようにしている。女子生徒のスラックス着用も認めている。
 - ・(意見) 校則について、今後ホームページに掲載し、中学生にみてもらうようにしてもよい。
 - ・(意見) 各学年、基本的な生活習慣の定着を目標に掲げている。年間を通して取り組むのではなく、具体的な期間を設けて取り組むと改善するのではないか。
- 2 進路指導部の活動について
 - ・(意見) 進路報告会を聞き、生徒たちが教員に感謝を述べているのが印象的であった。また、3年生がいつ、どのように進路を決断したのか細やかに話をしていた。ぜひ中学生にも聞かせたい。
 - ・(意見) 年間を通して、学校運営を拝見し、課題は家庭学習であると思う。枕崎高校の良さである、個別対応の指導、少人数制の良さを活かし、今後も進路実現に向けて励んでほしい。
 - ・(意見) 枕崎は経済格差がある地域である。経済格差が教育の格差にもつながると思うので、早い段階から保護者に金銭的なことを伝え、それを踏まえて生徒も進路のことを決定していくべきだと思う。
 - ・(意見) 卒業研究の冊子を読むと、生徒がおもしろい着眼点を持ち、研究、発表している。発表会の映像をホームページに掲載し、枕崎市民にも枕崎高校の生徒の活動をアピールしてはどうか。

3 保健部の活動について

- ・(質問) 避難訓練をする際、どのように行い、どこが避難場所になるか。
- (回答) 火災の時は、本校のグラウンド、地震の時は本校の屋上に避難するようになっている。通常は LHR の時間に事前指導をしてから避難訓練を行うが、今年度は授業中に予告なしで行った。予告なしではあったが、生徒の取り組み状況はよかった。
- ・(質問) スクールカウンセラーはいつから配置されているか。
- (回答) 昨年度から年に 10 回、県が各高等学校に派遣している。

貴重なご意見を賜り、まことにありがとうございました。

皆様のご意見を参考に、令和 5 年度の学校運営および校務運営に生かしてまいります。